

令和7年度第7回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和7年9月12日（金） 19：00～21：00

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、三浦重則、高井隆義、実島可斎、田中彰子、小野琢司、
太田宏暁、寺門浩之、菅生桃子、鈴木光、野上広志、福島政幸、
杉本好二

※理事総数：15名、本日の出席理事13名

※芦崎高志、小塩康祐は都合により欠席

【監事】安原 徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※石原美穂は都合により欠席

【陪席】二宮正晴（技術委員長）

佐々木陽一（国際副委員長）

篠原孝志（広報委員長）

松谷昌典（事務局長）

理事の古城資久、三浦重則、高井隆義、実島可斎、田中彰子、小野琢司、太田宏暁、
寺門浩之、菅生桃子、鈴木光、野上広志、福島政幸、杉本好二、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第1号議案：技術委員会提案事項

（1）公認大会対応の役割分担

年間約200件と多数の公認大会に対応するため、技術委員会内にブロック担当者を設置する。業務効率化のためメールの確認返信は省略し、大会要項が未掲載の場合は主催者から技術委員会へ直接照会するものとする。

(2) 日本記録認定証

発行が出来ていないことに対応するため、システムから PDF 形式でダウンロードできる仕組みを構築中である。ウイルス対策および操作マニュアルの整備が完了次第、運用を開始する。

(3) 国際審判員派遣

アジアマスターズ大会について、派遣希望の審判員 3 名で規定上の義務人数を充足すると判断。これに基づき、予定通り予算を執行し派遣する案が提案された。

審議の結果、上記 (1) から (3) の全提案事項は、出席理事全員の一致をもって承認された。

第 2 号議案:アンチドーピング委員会提案事項

本年度における次回簡易検査の費用負担について、検査費用と検査員の派遣費用は日本協会が負担するとの提案があった。審議の結果、本提案は出席理事の全員一致で承認された。

第 3 号議案:国際委員会提案事項

(1) コスタリカ ジュニア・サブジュニア大会での問題

主な問題点は「選手 ID でのコーチングエリアへの入場不可」、「コーチ未登録者のウォームアップエリアへの入場不可」など運営オペレーションの急な変更である。これらの問題と、世界学生カップにおける団体の定義に関する疑義について、国際委員会が要望を取りまとめ、JPA として IPF へ要望書を提出する。質問・要望事項は次回理事会までに集約することとし、要望書提出案は出席理事全員一致で承認された。

(2) 学生連盟におけるエクイップの選手選考会

学生連盟の大会がノーギアのみでエクイップへの派遣が継続されている対策として、①既存のエクイップ大会ランキングによる選考を導入する、②学連大会へのエクイップ部門の併催を打診する案などが挙げられた。また、関連規程の整備も急務であることが確認された。今後の進め方として、まずは学連に本件を問題提起し、次回理事会までに判断を仰ぐこととし、本件は継続審議することが承認された。

第 4 号議案:組織委員会提案事項

本年度定時社員総会にて、都道府県協会のガバナンス向上に関する方針が報告された。その主な内容は、定款整備、事業計画・報告の公表、役員定年制の導入、法人口座開設、法人格取得などである。これを受け、各協会の現状を把握するためのアンケート調査の実施が提案され、具体的な設問案が提示された。

審議の結果、アンケート実施案は出席理事全員一致で承認された。今後はアンケート結果に基づき、各協会へのサポートを実施するものとする。

第 5 号議案:その他議案

(1) 液体チョークについて

前回理事会で決定した使用禁止物質の方針に関し、各方面より意見がなされ、専門的見地から見直しが必要と判断され審議がなされた。その結果、規制対象を清掃が困難な「松脂」のみとし、性状安定に寄与する増粘剤や保護成分は規制しないとする新方針が提案された。審議の結果、本方針は出席理事全員の一致で承認された。本件の対応は担当理事が技術委員長と連携して進める。なお、前回の方針について公式ホームページに説明文を掲載することも併せて決定した。

(2) 国際審判員の派遣について

チャイニーズタイペイより、澤千代美 国際審判員の派遣依頼があり、依頼状に基づきその可否が審議された。派遣費用は全額チャイニーズタイペイ側の負担であり、審議の結果、本件は出席理事全員の一致をもって承認された。

(3) 国際派遣団長旅費について

サブジュニアおよびジュニアの国際大会に派遣する団長の旅費をJPAから支出する件について審議が行われ、出席理事全員の一致をもって承認された。

(4) クラシックマスターズパワー

南アフリカで開催されるエクイップ＆クラシックパワー大会において、審判兼任予定の選手が出場を辞退したため、審判員が不足する事態となった。これに伴い2,000ユーロのペナルティが発生することを踏まえ、派遣費用をJPA負担として代わりの審判員を追加派遣する件が審議され、出席理事全員の一致をもって承認された。

報告事項：(1) 東京都パワーリフティング大会における簡易検査の試行結果

東京都大会にて簡易検査を試行し、予定した7名への検査を完了した。その結果、運用上の課題として以下が挙げられる。

- ・ハラスメント防止を目的とした、異性の検査員・被験者間の組み合わせ回避
- ・検査対象者の時間的重複を避けるための、割り当て方法の見直し
- ・確実な本人確認方法の確立
- ・現状に合わせた「ドーピング防止規程」の改訂
- ・大会実施要項への簡易検査実施の記載
- ・各ブロックにおける検査員育成計画の策定

次回理事会までに各種原案を作成することとする。

(2) 国際委員会の報告

- ・IPF臨時総会が開催される報告がなされた。
- ・IPFのECメンバーより、国際選手権大会の受託を打診された。国際大会受託に向けて内部体制構築を進めるものとする。

(3) 青森国スポ準備について

7月の理事会にて、選手選考方法を比例選考方式から県別対抗の趣旨に沿った方式へ変更することが決議された。一部ブロックでは選考会の開始時期が迫っているため、本件に関する情報の速やかな公開が求められる。これを受け、変更後の大会要項をホームページ上で速やか

に公表するとの報告があった。

(4) 令和7年度のガバナンスコード自己公表

令和7年度のガバナンスコード自己公表の期日が10月末であることから、次回理事会において公表資料の承認を得る予定である。期限が迫っているため、事務局から依頼を受けた各委員会は数値情報や関連資料を速やかに提出するよう協力が求められた。

(5) スポーツマスターズ補助金について

JKAの補助金を受けて開催しているスポーツマスターズについて、現状と今後の見通しが報告された。本補助金は長崎、愛媛、そして次回開催地である石川の3大会で継続申請期間が満了となる。なお、石川県大会の申請資料は提出済みである。次々回開催地の静岡県大会以降は新たな財源が必要となる報告がなされた。

(6) グレートゲームズ

ランキングが9月末をもって確定し、その結果に基づき男子上位20名、女子上位16名を招待選手とすることが報告された。なお、集計元データに未着や誤りが想定されるため、ランキング発表後には修正依頼を受け付けるための期間と体制を設ける方針である。

(7) 次回理事会

次回10月10日19時から開催予定。

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は21:00に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和7年9月12日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会長
(代表理事)

古城賀久



監事

安原徹

